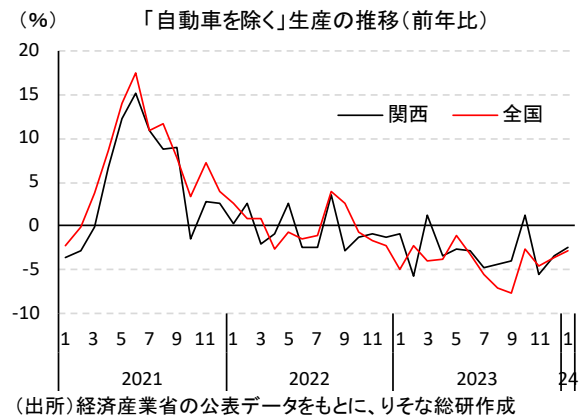
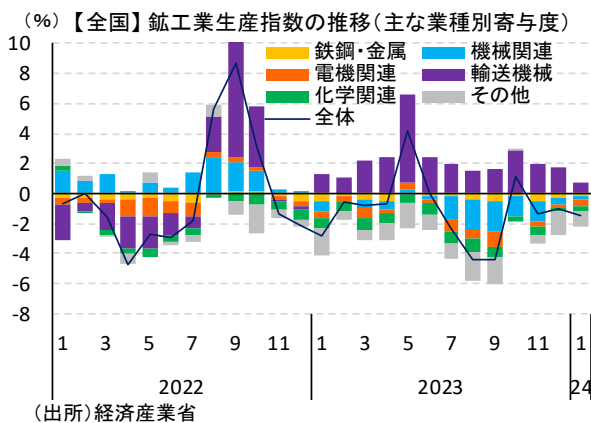
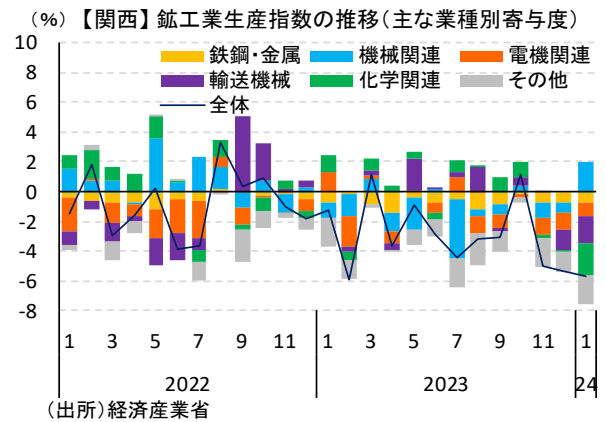
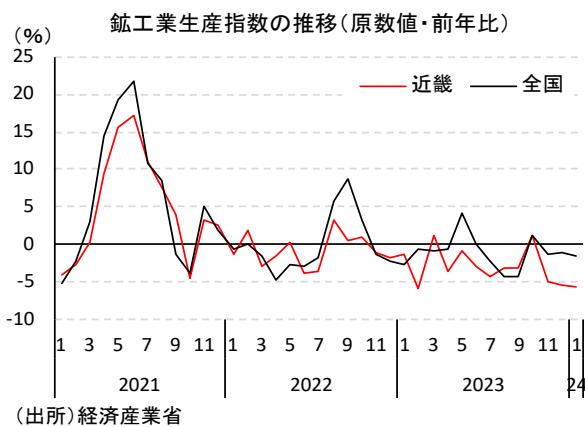


## 関西の景気トピックス【鉱工業指数（24年1月）】

- 24年1月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の速報データによると、生産（原数値）は前年比で5.7%減と、3か月連続の減少となった。業種別には機械関連を除き、幅広い業種で減少が続いている。輸送機械ではダイハツの生産停止による減少が顕在化し、全体の押し下げにつながっている。なお、機械関連の増加については、主に半導体製造装置の増加が主因とみられる。
- 在庫循環の動きをみると、前月と同様、企業が減産を進め、積み上がった在庫を減らそうとする「在庫調整局面」となっている。主に国内外の需要減少を背景にした動きとみられ、今後の推移への警戒が必要となっている。
- 全国と関西の違いに着目すると、これまで全国の生産を押し上げてきた自動車関連の増勢がやや鈍化している。これは前年の反動のほか、ダイハツの生産停止の影響もあるとみられる。一方、自動車を除く生産動向は、全国と関西でほぼ同じであり、国内外の需要減を受けて前年割れが続いている。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。